

## 税制調査会（第15回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：令和4年9月9日（金）17時08分

場 所：財務省第3特別会議室

### ○中里会長

本日の総会は、青山学院大学の耳塚特任教授と早稲田大学の菊池教授に御出席いただき、社会経済の構造変化等に関する有識者ヒアリングを行いました。

非常に活発な議論が行われ、耳塚先生も菊池先生もこんなに本気で議論するのかと驚いていらっしゃいました。

今後の総会について、開催日時は現在調整中ですが、次回は「税に関する総論的議論」として「租税原則における中立」などに関して、経済学的な議論の紹介を有識者の方にお願ひできればと思っています。

また、事務局にお願ひして、これまで行った有識者ヒアリングのエッセンスを簡潔にまとめていただき、それを委員間で共有できればと思っています。

### ○記者

今日のヒアリングについて、今回この2名の方を呼んだ狙いや、どのような議論が行われたとお考えかお伺ひしたいと思います。

### ○中里会長

私もアメリカに行って思ったのですが、格差の拡大はいろいろなところに表れてきます。課税と関わるものと課税とは無関係のものという視点だけではなく、ポラライゼーションというのですか、政治思想においても両極化があるわけです。それから、経済的な問題についてもそうですし、社会の変化への対応についても、すごく素早く対応する人とそうでない人と、いろいろに分かれてきましたので、社会的に頑張っているがなかなか厳しい状態にある方々に焦点を当てる回があった方が良いのではないかと思います。

事実の正確な把握というのは、全ての政策判断の基本になります。我々がいろいろな有識者の方にお話を伺った中には、税金と直接は関係ないこともあったと思いますが、とにかく事実を正確に把握して、どのような問題があるのかを知ること。その中には税制で解決できそうなものもあれば、税とは直接関係ないこともあると思います。そういう中で、幅広くいろいろな方々にヒアリングをお願ひして、事実関係の正確な把握を行ってきました。

今日もいろいろな御意見が出ていましたが、国がどんなことをするにもお金がかかるわけで、何か課題があって解決した方が良くとも、財源をはじめとしているいろいろな問題があります。そういう点も含めて、世の中が今こうなっていてこんな問題がありますということを正確に理解し、その上で、可能な限り現実的で、効率的かつ有効な税制改革を志していきたいと考えております。

## ○記者

今日のヒアリングで一つ議論になっていたのが、今後の子供の支援は保険という形がふさわしいのか、いわゆる税の方が良いのかということで、これには様々な意見があったと思いますが、今後、子供の支援をどういう形で負担していくかということについて、今回の議論でどういう論点が見えてきたとお考えでしょうか。

## ○中里会長

今日たまたま議論として出てきて、事実として世の中を見るところこういう問題があるというところまでは分かったのですが、それに対してどういう方策でというのはまだ具体的に決められる段階ではないと思いますし、ある問題に対する対応策を考えていく場合には、複数の方法があると思います。保険でやる、税制でやる、資金を貸し付けるなどいろいろあると思います。その中の1つだけが良いということではなく、いろいろな方法がある中で、そのうちの1つだけ選ぶか、複数を組み合わせるか、そういうことも含めて、これは政治の場でお決めになっていただくのが一番よろしいのではないかと思います。我々は、こういう方策があるということを列挙して、政府からいただいた諮問に対してお返りする立場です。

個々の委員の方によってそれぞれ考え方がありますが、それも含めていろいろ議論した方が良いのではないかと思います。だから、私が決め打ちするようなことにはならないということです。

[終了]